

いずれも医師の指示に従って  
治療を受けてください。



《登所意見書(医師の意見)が必要でない主な感染症》

病名	症状など	かかりやすい年齢及び季節
手足口病	潜伏期間(2～7日) 症状：不機嫌→食欲不振・発熱があるときもある。 手足に米粒ほどの水泡をもった発疹ができる。主に手・足・口に発疹。	生後6か月～4, 5歳の乳幼児期に多い。(特に集団にいる場合) 夏期に多い。原因となる病原ウイルスが複数あるため再発することがある。
伝染性膿か疹 (とびひ)	潜伏期間(2～10日) 症状：水泡がつぶれ、かさぶたになり円状形にひろがる。 全身いたるところにできる。	どの年齢にもみられる。 夏の終わりに多くみられる。
伝染性軟属腫 (水いぼ)	症状：米粒大までの柔らかい桃色又は真珠色のいぼ。 真中がへそのようにくぼんでいることもある。	幼児期に多い。
溶連菌感染症	潜伏期間(一般に2～4日) 症状：急性扁桃炎・咽頭炎・中耳炎。特徴的な発疹など。	腎炎・リウマチ熱・血管性紫斑病などの慢性疾患の一部は溶連菌感染症に続いて起こるので担当医の指示を守ることが大事。
伝染性紅斑 (りんご病)	潜伏期間(4～18日) 症状：頬に境界のはっきりした紅い発疹が特徴。	幼児期に多い。
ヘルパンギーナ	潜伏期間(2～7日) 症状：突然の発熱・のどの痛み(水泡・潰瘍)	4歳以下の乳幼児に多い夏かせ。
マイコプラズマ 肺炎	潜伏期間(2～3週間) 症状：発熱・のどの痛み・全身倦怠感、咳は長く頑固であることが多い。	4～9歳位に多い 夏から初冬に多く、4年周期の流行がみられる。
突発性発疹	症状：2～4日の高熱で、解熱後全身発疹。	生後6か月～1歳。 1歳をすぎて発症することはまれ。 症状は現れなくてもほぼすべての子どもが免疫を獲得します。

★ その他に、ウイルス性胃腸炎(ノロ・ロタ・アデノウイルス等)・RSウイルス感染症・帯状疱疹(ヘルペス)・アタマジラミなどがあります。

★ 保育施設は、乳児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、ひとりひとりの子どもが快適に生活できることが大切です。子どもが楽しく元気に保育所(園)生活を送れるように集団生活適応できる状態に回復してから登所(園)するよう、ご配慮ください。